

Highlights

- ▶ 当期は、『さらなる選択と集中によってグループ企業価値の最大化を目指す』ことを目標に掲げ、情報機器事業、オプト事業を中心に積極的な事業展開を進めました。
- ▶ 当期の連結売上高は、事業終了に向けて規模縮小を進めるフォトイメージング事業の売上減少の影響を受けましたが、他の事業は概ね堅調に推移し、1兆683億円(前年並み)となりました。
- ▶ 営業利益は834億円となり、前期比で158億円(23%)の増益となりました。また、営業利益率も6%から8%へと2ポイント改善しました。原油価格等原材料の高騰、デジタルカメラ・カラーフィルム等の販売数量減少といったマイナス影響を、全社的なコストダウン・新製品投入・諸経費の大幅削減などにより吸収しました。

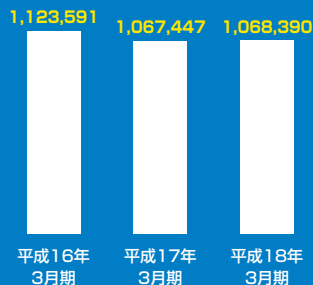
- ▶ 経常利益は前期比232億円(43%)増の768億円となりました。営業利益、経常利益とも過去最高額を達成しました。
- ▶ しかしながら、フォトイメージング事業の終了決定に伴う損失などを特別損失に計上したことにより、当期純損失は543億円となりました。

主要決算ハイライト

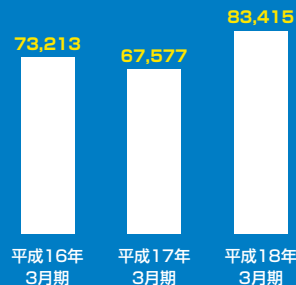
(単位:百万円)

	当期 平成18年3月31日	前期 平成17年3月31日
売上高	1,068,390	1,067,447
営業利益	83,415	67,577
当期純利益	△54,305	7,524
総資産	944,054	955,542
株主資本	293,817	339,729
株主資本比率(%)	31.1	35.6
有利子負債	236,561	246,346

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)

